

## 松井博和顧問に日本農学賞並びに読売農学賞の授与が決定



日本農学会は、平成30年度の日本農学賞を  
本社顧問、松井博和北海道大学名誉教授（札幌  
農学同窓会理事長）ら7件に授与すると発表し  
ました。さらに、第55回読売農学賞の授賞も  
あわせて決まりました。

農学賞は大正14年に創設され、昭和17年  
に日本農学賞と名前が変わり、日本の農学研  
究者間における最高の栄誉として今日まで続  
いています。日本農学賞の受賞者は、昭和  
39年より読売新聞社から読売農学賞も授与  
されています。

松井顧問の研究対象は、「オリゴ糖生産酵  
素の基盤的研究」であり、機能性オリゴ糖の合成につながる各種糖質関連酵素の反応  
機構の解析、新規酵素の発見、新たな酵素ファミリーグループの創立などの長年の研  
究と、科学技術の啓発活動や市民や青少年への対話や講演活動に対するものです。

科学は人類に夢を与え、科学技術は人類に喜びを与えるものでなくてはならない  
との持論の下、全国に先駆けて策定された北海道遺伝子組換え条例の座長を務める  
とともに、小中高生には、生命科学者の観点から「生きるとは学ぶとは」の講演活  
動を続け、その活動範囲は我が国の食料生産と科学技術に対する国民の理解の推進  
にまで広がり、農学分野全般に特段の貢献を成し遂げたといえます。

授賞式および受賞者による講演は、平成30年4月5日（木）に東京大学弥生会  
館で行われます。

（2018年2月14日）